

# 市原事業所で市原市石油コンビナート等 総合防災訓練が実施されました



市原事業所（千葉県市原市）で11月6日、令和6年度市原市石油コンビナート等特別防災区域協議会総合防災訓練が行われ、同事業所、区域協、市原市消防局などから関係者約100名が訓練に参加しました。

## 地震が発生、タンクから石油化学製品漏えい想定

千葉県内には市川、千葉、市原、袖ヶ浦の4区域に石油コンビナート等特別防災区域があり、それぞれの区域協で例年訓練を実施。当事業所での開催は14年ぶりで、午後2時ごろ、東京湾北部を震源とするM7.5の直下型地震が発生、石油化学製品のローリー出荷作業やドラム充填作業中との想定で訓練が始まりました。

地震発生と同時に現地災害対策本部が設置され、所員全員の安否を確認する一方、荷役等を一時中断。構内設備の点検中に津波警報が発令され、更に余震が発生しました。

ローリー出荷作業で使用していたポンプ周辺からの漏洩、隣接タンク天板上で点検を行っていた所員の転倒負傷が発生。自衛防災隊が編成され、市原市消防局と近隣企業に応援要請を行い、漏洩油回収・負傷者救護作業を実施。更に、対象タンク元での火災発生に対する消火活動、亀裂の入った防油堤への土のうを構築するなど、滞りなく本訓練を終えました。